

2024年度 スポーツ科学部スポーツ科学科 旧カリキュラム (2022年度以前入学生対象)														カリキュラムマップ			
DPI (実践的な知識・技能)														DPI (創造力と行動力)			
ディプロマポリシー	①スポーツ科学の学際的知識をもとに幅広い教養を修得し、社会を積極的に捉えることができる (把握する力)。				②スポーツの文化的価値の理解と言語スキルの習得を基礎とし、情報通信技術 (ICT) 等を活用しながら様々な事象に対して論理的・批判的・創造的に思考し、判断することができる (考え抜く力)。				③スポーツの社会的意義を学んで多様な価値観を受けし、他者を尊重して協働する態度を身に付け、高い倫理観を備えることができる (協調する力)。				④実体験を通じて獲得したスポーツの実践力を活かし、主体的に自身の成長と社会の持続的発展に寄与しようとする (挑戦する力)。		⑤スポーツ科学を通じて得た知見を国内外に発信し、あらゆるフィールドにおける課題の解決に活かすことができる (行動する力)。		
学部専攻科目																	
科目区分														キャリア形成科目群			
科目														コース科目			
共通科目														コース科目		キャリア形成科目群	
科目群	A群	B群	C群	D群	コース 共通	a科目群	b科目群	c科目群	A群	B群	C群	D群	E群	F群			
4年次					【2022年度入学生対象】 *スポーツ専門演習Ⅲ *スポーツ専門演習Ⅳ 【2021年度入学生対象】 *スポーツ専門演習2									保健体育特別演習Ⅱ 健康運動特別演習			
3年次 または 3年次以上					【2022年度入学生対象】 *スポーツ専門演習Ⅰ *スポーツ専門演習Ⅱ 【2021年度入学生対象】 *スポーツ専門演習Ⅰ		【競技スポーツコース】 トレーニング指導実習 【生涯スポーツコース】 運動処方論			個別別コーチング演習(陸上競技:短距離・中距離・長距離) 個別別コーチング演習3(水泳) 個別別コーチング演習4(スケート) 個別別コーチング演習5(バスケットボール) 個別別コーチング演習6(サッカー) 個別別コーチング演習7(ラグビー) 個別別コーチング演習8(ホッケー) 個別別コーチング演習9(バレーボール) 個別別コーチング演習10(ソフトボール) 個別別コーチング演習11(柔道) 個別別コーチング演習12(レスリング) 個別別コーチング演習13(空手道)	競技スポーツサポート演習(マネジメント) 競技スポーツサポート演習1(地域スポーツ) 競技スポーツサポート演習4(体力) 競技スポーツサポート演習5(心理)	生涯スポーツサポート演習(障がい者スポーツ) 生涯スポーツサポート演習1(地域スポーツ)	体育科内容・指導論(体育理論) 体育科内容・指導論2(体育実技)		保健体育特別演習Ⅰ 保健体育特別演習Ⅲ		
2年次 または 2年次以上	【2022年度入学生対象】 *スポーツキャリア演習2 【2021年度入学生対象】 *スポーツキャリア形成					【競技スポーツコース】 スポーツコミュニケーション論 競技スポーツ戦略・戦術論 競技スポーツ学 競技スポーツマネジメント論 競技スポーツコーチング論 障がい者競技スポーツ論 【生涯スポーツコース】 スポーツ文化論 スポーツビジネス論 スポーツメディア論 スポーツプロモーション論 地域スポーツ論 <small>スポーツマネジメント実習(スポーツマネジメント実習)</small>	【競技スポーツコース】 競技スポーツ技術論 競技スポーツ体力論 競技スポーツ心理論 競技スポーツ傷害論 競技スポーツ栄養論 【生涯スポーツコース】 障がい者スポーツ論 【生涯スポーツコース】 健康心理論 健康体力論 高齢者スポーツ論(要介護者を含む) 子どもスポーツ論	【競技スポーツコース】 競技スポーツ演習(マネジメント) 競技スポーツ演習(ゲーム分析) 競技スポーツ演習(体力) 競技スポーツ演習(心理) 競技スポーツ演習(備前) 競技スポーツ演習(トレーニング)(体験) 競技スポーツ演習(チームマネジメント)		保健体育教育法1(体育) 保健体育教育法2(保健) 保健体育指導論 保健体育内容・指導論 <small>保健体育内容・指導論実習(保健体育実習)</small> 衛生学(公衆衛生学を含む)		インターンシップ					
1年次 または 1年次以上	*スポーツ基礎演習	スポーツ史 スポーツ経営学 スポーツ医学(体育原理を含む) 野外活動・教育論 コーチング(基礎知識、運動方法学を含む) スポーツ社会学 スポーツ心理学 スポーツ教育論 スポーツ政策論	機能解剖学 トレーニング論 スポーツ栄養科学論 スポーツ生理学 スポーツ栄養学 体力論 スポーツ医学 スポーツバイオメカニクス スポーツ傷害論	<a科目群> 実技実習a(ダンス) 実技実習a(器械運動) 実技実習a(陸上競技:短距離・中距離・長距離) 実技実習a(水泳・水中運動) 実技実習a(スケート) <b科目群> 実技実習b(バスケットボール) 実技実習b(サッカー) 実技実習b(ラグビー) 実技実習b(ホッケー) 実技実習b(バレーボール) 実技実習b(テニス) 実技実習b(ソフトボール) <c科目群> 実技実習c(柔道) 実技実習c(レスリング) 実技実習c(空手道) <d科目群> 実技実習d(野外活動:キャンプ) 実技実習d(野外活動:水辺) 実技実習d(野外活動:雪上)													
必修要件	7.4 単位																
カリキュラム ポリシー	教育内容 1 学部専攻科目においては、スポーツ科学と隣接領域に関する実践的な知識・技能の活用力を学ぶ。また、実技・演習系科目では、各競技や各分野の実技・実践を通じて、創造力・行動力・指導力を身に付ける。 2 学部専攻科目以外においては、各科目群の履修を通じて、全科目に掲げられた能力を身に付ける。 教育方法 1 スポーツ科学と隣接領域の科目においては、講義によって知識・技能を伝授するだけでなく、知識・技能の活用力を育成するためにアクティブラーニング手法を用いた授業を実施する。 2 実技・演習系科目では、実行課程における行動計画と指導の成果に対するパフォーマンス評価を行う。 評価方法 1 スポーツ科学と隣接領域の科目においては、知識・技能の定着を測るだけでなく、知識・技能の活用力をパフォーマンスで評価する。 2 実技・演習系科目では、実行課程における行動計画と指導の成果に対するパフォーマンス評価を行う。 3 各授業の評価基準はシラバスと授業ルーブリックによって定める。 4 卒業判定は、スポーツ科学部履修規程に定められた基準によって行う。																
アドミッション ポリシー	スポーツ科学部で求める人物は、ルールやマナーを尊重し、「大学生活をとおして幅広い教養と豊かな人間性を身に付けたいと願っている人」、「スポーツを行うこと、見ること、支えること、教えることなどに興味・関心がある人」を前提とする。 (基礎的な知識技能) 大学での学修に必要な基礎的・基本的学力および運動能力を備えている人 (思考力・判断力・表現等の能力) スポーツや体育・健康に関わる今日的な課題を多角的に捉え、判断し、表現することができる人 (主体性・多様性・協働性) 関心と協働しながら、以下に示す課題を達成しようとする人 ① 授業やスポーツクラブの活動をとおして、競技力や運動能力をさらに高めること。 ② 授業やスポーツクラブの活動をとおして、スポーツ科学の知と技(指導能力、研究能力、科学的サポート能力、マネジメント能力など)を実践的に身に付けること。 ③ 大学生活で得た学修成果を、国内外のさまざまなスポーツ関連分野において活かすこと。																
備考	卒業要件や履修可能な科目については、入学年度により異なるため、入学年度の教育課程表もあわせて確認すること。																